



# Getting Started BackStore へようこそ！

## 操作マニュアル

---



株式会社ねこじゃらし  
<https://www.nekojarashi.com/>

## 改版履歴

| Rev   | 作成日        | 変更理由       | 変更内容           |
|-------|------------|------------|----------------|
| 1.0   | 2013/03/26 | 初版         |                |
| 1.1   | 2013/04/12 | 説明の追加、変更   | 文章の追加・修正、画像の修正 |
| 1.2   | 2013/05/28 | 説明の追加      | 文章追加           |
| 1.3   | 2013/07/08 | 説明文修正      | 文言の変更          |
| 1.4   | 2013/08/01 | 説明文修正、削除   | 文言の変更、削除       |
| 1.5   | 2013/08/09 | 説明の追加、変更   | 文章の追加・変更、画像の修正 |
| 1.6   | 2013/11/26 | 説明の追加      | 文章の追加          |
| 2.0.0 | 2014/02/01 | バージョン更新    | 文章の追加、画像の変更    |
| 2.0.1 | 2014/04/25 | 説明文変更      | 動作環境の変更        |
| 2.0.2 | 2014/07/18 | 説明の追加      | 文章、画像の追加       |
| 2.0.3 | 2014/08/27 | 説明の追加      | 文章の追加          |
| 2.0.4 | 2014/10/03 | 説明文変更      | 文章の修正、画像の修正    |
| 3.0.0 | 2015/02/28 | バージョン更新    | 文章の修正、画像の変更    |
| 3.0.1 | 2015/03/16 | 説明文変更、画像修正 | 文章の修正、画像の修正    |
| 3.0.2 | 2015/07/31 | 対応環境更新     | 文章の修正          |
| 4.0.0 | 2017/04/01 | バージョン更新    | 文章の修正、画像の修正    |
| 4.0.1 | 2017/06/14 | 説明文変更      | 文章の修正          |
| 5.0.0 | 2018/6/30  | バージョン更新    | 文章の修正、画像の修正    |
| 5.0.1 | 2020/01/31 | 説明文変更      | 文章の変更          |
| 6.0.0 | 2021/02/27 | バージョン更新    | 文章の変更、画像の変更    |

## 登録商標

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。
- ・ macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ BackStore は株式会社 E ストアーの登録商標です。当社は、当社と株式会社 E ストアーとの間で締結された商標使用許諾契約に基づいて使用の許諾を得ています。
- ・ 「BackStore」は、株式会社ねこじゃらしと米国 Code42 Software, Inc. との共同ブランドです。
- ・ Code42 Software, Inc. は、Code42 app の開発元です。
- ・ 本ドキュメントに記載されている商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本ドキュメントでは、商標TM・登録商標（R）・著作権（C）等のマークは記載していません。
- ・ 本マニュアルの内容は、著作権法による保護を受けています。著作者の許諾を得ずに、本マニュアルの内容の一部あるいは全部を無断で転載する事は禁じられています。

---

## 目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| BackStore へようこそ！      | 3  |
| 対応環境                  | 3  |
| お申し込み                 | 3  |
| セットアップ・バックアップ         | 4  |
| 各項目の機能の説明             | 6  |
| ホーム画面                 | 6  |
| 設定                    | 7  |
| 履歴画面                  | 15 |
| タスクトレイの機能             | 16 |
| クラウドからのバックアップファイル削除方法 | 17 |
| コマンドによるクライアントソフトの操作   | 18 |
| コンピュータの引き継ぎ           | 19 |

---

# BackStore へようこそ！

「Code42」ソフトウェアを使用することで、どんなマシンでも、どんなファイルでも、どんな場所からでも、データのバックアップが可能です。クラウドでバックアップを管理していますので、どこからでも即時にデータの復元ができます。遠く離れた場所へデータをバックアップすることにより、火災・地震・その他の天災や、盗難・人為的事故からデータを完全に保護します。また、ローカルデータの 2 次バックアップとしても有効です。バックアップは、1 ファイルの大きさも、世代数も無制限です。データと通信経路は完全に暗号化され、安全にバックアップすることができます。高度なブロックレベルの重複排除差分バックアップにより、従来のバックアップを遙かに凌駕するパフォーマンスでのバックアップが可能です。

## 対応環境

詳細は各インストールマニュアルをご参照ください。

### [Windows]

- ・ Windows 8.1、Windows10
- ・ 2GB 以上のメモリ
- ・ 2GB の空ディスク容量

### [macOS]

- ・ macOS Mojave 10.14、Catalina 10.15、Big Sur 11.0
- ・ 2GB メモリ
- ・ 2GB の空ディスク容量

### [Linux]

- ・ Red Hat Enterprise Linux (CentOS) 7.6 - 7.8, 8.1 - 8.2
- ・ Ubuntu 16.04, 18.04, 20.04

### システム要件・必要パッケージ

- ・ 2GB 以上のメモリ
- ・ 2GB の空ディスク容量
- ・ 960 \* 780 ピクセルを表示できる GUI 環境
- ・ libgconf-2-4
- ・ libXScrnSaver
- ・ net-tools
- ・ libnss3
- ・ libxss1 (Ubuntu 14.04)
- ・ libnsl (Red Hat Enterprise Linux 8.1 以降)

## お申し込み

BackStore ホームページの「お問合せ」からお申し込みください。

BackStore ホームページ  
<https://www.backstore.jp/>

### ■ サポート連絡先

ご質問等ございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

一般的なご質問：backstore@backstore.jp

技術的なご質問：support@backstore.jp

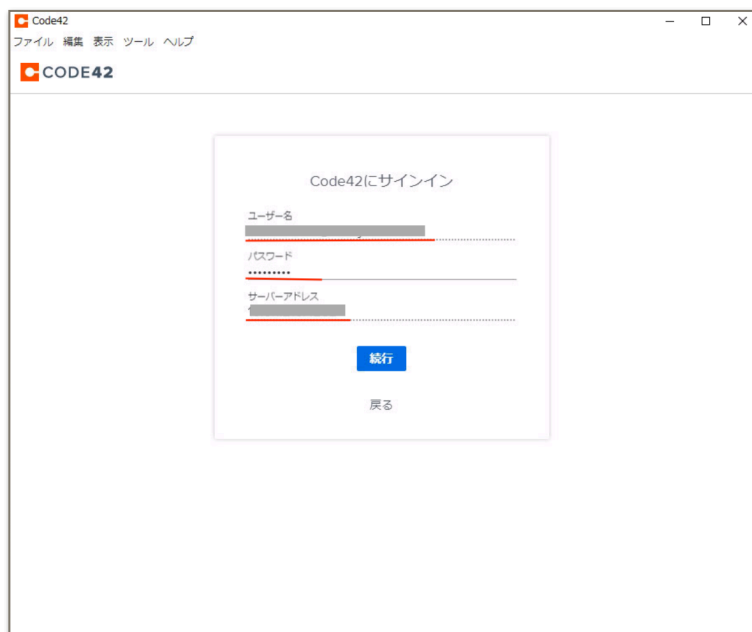
## セットアップ・バックアップ

1. ご登録いただきました「アカウント（ユーザー名）」「パスワード」「サーバアドレス」を各欄に入力し「続行」ボタンをクリックします。

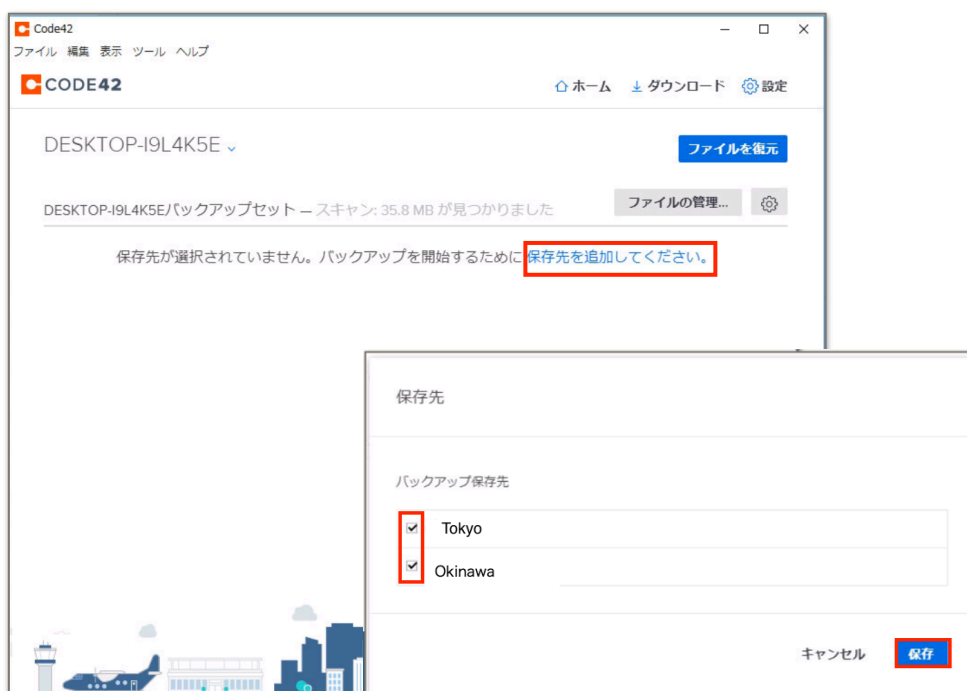
※「サーバアドレス」は、ご利用の認証サーバに応じて以下を入力してください。認証サーバ名が不明の場合は、問い合わせ窓口までお問い合わせください。

- ・ bs13.backstore.jp をご利用の場合：bs13.backstore.jp:4282 または SSL 通信を行う場合 bs13.backstore.jp:4287
- ・ bs21.backstore.jp をご利用の場合：bs21.backstore.jp:4282 または SSL 通信を行う場合 bs21.backstore.jp:4287

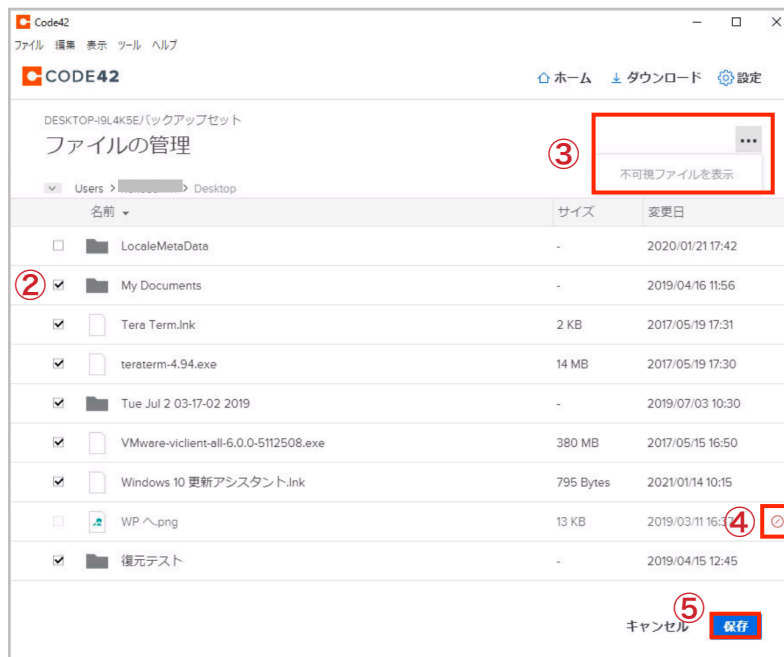
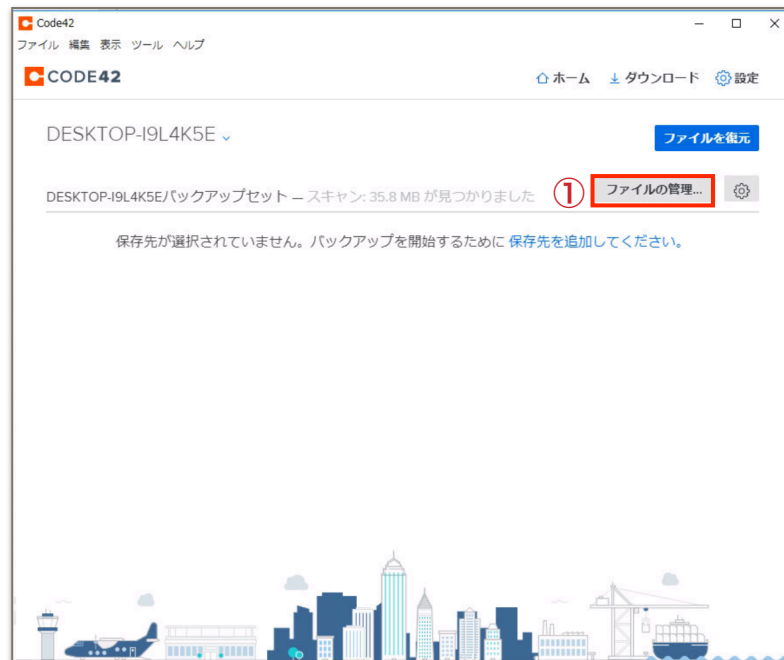
※ その他エラーが出てログインできない場合はサポート窓口までご連絡ください。



2. バックアップの保存先サーバを選択します。「保存先を追加してください。」をクリックし、「Tokyo」と「Okinawa」にチェックを入れ「保存」をクリックします。



3. バックアップするファイルを選択します。①「ファイルの管理…」ボタンをクリックし、②任意のフォルダ/ファイルにチェックを入れます。右上の③「…」を開くと、不可視ファイルを表示させるメニューが表示されます。



#### ※除外ファイルについて

設定タブにて「除外するファイル」（詳細P.12）を設定していた場合や、標準で除外されるファイルについては、ファイル選択画面で変更日右に④のマークが表示され、ファイル名がグレースアウトしています。マークが表示されているファイルはバックアップすることができません。

標準で除外設定が行われているファイルにつきましては、別紙の「BackStore by PROe バックアップ除外ファイル一覧」をご確認ください。

4. ファイル選択後⑤「保存」をクリックすると、スキャンが実行されバックアップが開始されます。

# 各項目の機能の説明

## ホーム画面



- ① ホーム：ホーム画面（上記画像画面）に戻ります。
  - ② ダウンロード：復元されたファイルを確認することができます。
  - ③ 設定：クライアントソフトの各種設定の変更を行います。
  - ④ マシン名：バックアップ対象のマシン名が表示されます。
  - ⑤ 復元ボタン：復元を行います。
  - ⑥ バックアップセット名：バックアップのスケジュールや保存する世代数の設定など「バックアップセット」にて管理します。
  - ⑦ ファイル選択ボタン：バックアップするフォルダ/ファイルの追加や変更を行います。
  - ⑧ バックアップセットの設定：クリックすると、「バックアップの設定変更画面へ移動」と「バックアップセットを削除」のメニューが表示されます。
  - ⑨ バックアップ保存先：「バックアップ先のサーバ名」が表示されます。
- ※ ご契約のプランによっては複数の保存先が表示される場合があります。

## 設定

クライアントソフトの各種設定を行います。

### 一般タブ



- ① デバイス名：現在使用しているデバイス名が表示されます。  
「名前を変更」から、Code42 内で使用するデバイス名を変更できます。
- ② デバイス ID：デバイス ID が表示されます。
- ③ ホスト名：現在使用しているホスト名が表示されます。
- ④ 言語：言語を変更できます。  
※「日本語」と「英語」以外の言語についてはサポートしておりません。
- ⑤ [Windows] 通知領域に Code42 アイコンを表示：タスクトレイのアイコン表示の有無を設定できます  
[macOS] メニューバーに Code42 ステータスを表示：メニューバーのアイコン表示の有無を設定できます。  
※Linux ではこの項目は表示されません。
- ⑥ [Windows] ログオン時に通知領域に Code42 アイコンを表示：デバイスにログインするとタスクトレイにアイコンが表示されます。  
[macOS] ログイン時にメニューバーで Code42 を開く：デバイスにログインするとメニューバーにアイコンが表示されます。  
※Linux ではこの項目は表示されません
- ⑦ Web でアカウントを管理：クリックするとブラウザが起動し、管理コンソールが開きます。



## 使用状況タブ

デバイスのプリファレンス

一般 使用状況 保存先 ネットワーク セキュリティ バックアップ

① このデバイスがバックアップされない場合に警告を発するまでの期間:

3 日

② このデバイスが引き続きバックアップされない場合に再び警告を発するまでの期間:

5 日

③ スリープまでのアイドル時間:

15 分

④ コンピュータで作業していない時の最大CPU利用率:

80 % CPU

⑤ コンピュータで作業している時の最大CPU利用率:

20 % CPU

⑥ バックアップを停止するバッテリーの値:

20 %

ローカルメンテナンススケジュール

⑦ 簡易メンテナンスを行う頻度:

7 日

⑧ 完全メンテナンスを実行する頻度:

28 日

- ① このデバイスがバックアップされない場合に警告を発するまでの時間：表示された期間バックアップが完了していない状態である場合にメールにて通知します。
- ② このデバイスが引き続きバックアップされない場合に再び警告を発するまでの時間：表示された期間バックアップが完了していない状態である場合にメールにて通知します。
- ※これらの日数を変更することはサポートしておりません。
- ③ スリープまでのアイドル時間(Windows, Mac)：無操作の待機時間を設定します。設定時間を過ぎると設定した CPU 利用率でバックアップが動作します。
- ④ コンピュータで作業していない時の最大CPU利用率(Windows, Mac)：コンピュータの無操作時にバックアップに利用する CPU の利用率を設定します。
- ⑤ コンピュータで作業している時の最大CPU利用率(Windows, Mac)：コンピュータ使用時のバックアップに利用する CPU の利用率を設定します。
- ⑥ バックアップ停止するバッテリー状況(Windows, Mac)：コンピュータのバッテリー残量が指定したパーセンテージになると、バックアップが停止します。
- ⑦ 簡易メンテナンスを行う頻度：アーカイブメンテナンスを行う頻度を設定します。
- ⑧ 完全メンテナンスを実行する頻度：ディープアーカイブメンテナンスを行う頻度を設定します。
- ※これらの日数を変更することはサポートしておりません。

## 保存先タブ



- ① **クラウド**：接続されている保存先サーバと接続ステータスが表示されます。
- ② **利用容量**：クラウドにバックアップした容量が表示されます。
- ③ **メンテナンスの実行**：クリックすることで、バックアップしたデータに「頻度とバージョン」(P.13) で設定した「保持する世代」を適用します。  
※「保存する世代」の設定時間が過去の設定より期間を長く設定した場合、新しい「保存する世代」設定に従いサーバにバックアップされたデータは消去されます。ご注意ください。
- ④ **クォータ**：お客様に割り当てられているバックアップスペース容量が表示されます。
- ⑤ **アーカイブの削除**：保存先のサーバをリストから削除します。バックアップしたデータは全て削除されます。

## ネットワークタブ

デバイスのプリファレンス

一般 使用状況 保存先 **ネットワーク** セキュリティ バックアップ

帯域幅設定

① WAN: なし (離席中), なし (在席中) 変更...

② LAN: なし (離席中), なし (在席中) 変更...

接続設定

③ ワイヤレスネットワークの除外: なし 変更...

④ ネットワークインターフェースの除外: なし 変更...

⑤ プロキシ: 無効 変更...

⑥ サーバーアドレス

- ① **WAN**：コンピュータで作業していない時、およびしている時の WAN の通信速度を設定します。「その他」を選択した場合は、指定の通信速度を設定できます。
- ② **LAN**：コンピュータで作業していない時、およびしている時の LAN の通信速度を設定します。「その他」を選択した場合は、指定の通信速度を設定できます。
- ③ **ワイヤレスネットワークの除外(Windows, macOS)**：SSID を指定することにより、特定のワイヤレスネットワークをバックアップに使用しないようにすることができます。
- ④ **ネットワークインターフェースの除外(Windows, macOS)**：ネットワークインターフェースを指定することにより、特定のネットワークインターフェースをバックアップに使用しないようにすることができます。
- ⑤ **プロキシ**：プロキシ設定を有効にします。
- ⑥ **サーバーアドレス**：Code42サーバーのプライマリおよびセカンダリネットワークアドレスを表示します。

## セキュリティタブ



- ① **Code42 アプリを開くにはアカウントパスワードが必要**：クライアントソフトを起動する際にログインパスワードの入力を求めます。(パスワードはご登録いただいたパスワードになります。)
- ② **アカウント暗号化キーのセキュリティ**：アカウントの暗号化キーのセキュリティ設定を下記の通りアップグレードできます。

※アーカイブ暗号化キーのセキュリティは、アップグレードした場合レベルを元に戻すことはできません。

- ・ **アカウントパスワード**（デフォルト）：ご登録いただいたパスワードを使用します。
- ・ **アーカイブキーのパスワード**：復元の際に利用するパスワードと質問/回答を設定します。
- ・ **カスタムキー**：復元の際に利用するためのカスタムキーを「インポート」、「クリップボードから貼り付け」、「パズルピース」、「キーの生成」から作成します。

※カスタムキーを忘れたり紛失した場合、リセットすることはできません。また、カスタムキーがない場合データを復元することができません。

## バックアップセットタブ



- ① **バックアップセット**：「名前を変更」よりバックアップセットの名前を変更できます。「・・・」のメニューより、ファイルの管理とファイルのスキャンを開始させることができます。
- ② **バックアップスケジュール**：「常に最新を保つ → 指定した時間の間のみ実行」と変化します。常時バックアップ可能な状態か、指定した時間内のみバックアップ可能な状態とするかを選択できます。「指定した時間の間のみ実行」を選択すると、開始時刻、終了時刻、曜日の選択ができます。
- ③ **頻度とバージョン**：バックアップの頻度や、世代の保存期間を設定します。（詳細：P. 13）
- ④ **除外ファイル**：バックアップから除外したい拡張子を入力します。除外する事で、バックアップが不要なファイルのサーバへの転送を行わず、容量を節約できます。  
例：music.mp3 → "mp3"
- ⑤ **保存先**：バックアップの保存先サーバを変更できます。
- ⑥ **優先順位**：バックアップを実行するバックアップセットの優先順位を変更できます。

※バックアップセットは複数作成することができますが、サポート外の操作となります。

## 頻度とバージョン

バックアップタブで変更のボタンをクリックすると、下記の設定が表示されます。各設定はプルダウンメニューより変更ができます。

頻度とバージョン:

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| ① <u>バックアップの変更頻度:</u>   | 15分   |
| ② <u>1週間バージョンを保持:</u>   | 15分ごと |
| ③ <u>1週間後もバージョンを保持:</u> | 毎日    |
| ④ <u>90日後もバージョンを保持:</u> | 毎週    |
| ⑤ <u>1年後もバージョンを保持:</u>  | 毎月    |
| ⑥ <u>削除されたファイルの除去:</u>  | しない   |

キャンセル保存

- ① **バックアップの変更頻度**: バックアップ終了後、設定した間隔毎にバックアップを実行します。
- ② **1週間バージョンを保持**: 1日前から7日前のファイルのバージョンの保持する間隔を設定します。
- ③ **1週間後もバージョンを保持**: 8日前から90日前のバージョンの保持する間隔を設定します。
- ④ **90日後もバージョンを保持**: 91日前から365日前のバージョンの保持する間隔を設定します。
- ⑤ **1年後もバージョンを保持**: 366日以降のバージョンの保持する間隔を設定します。
- ⑥ **削除されたファイルの除去**: コンピュータ上で削除されたデータをサーバで保持する間隔を設定します。「しない」に設定している場合、サーバにデータが残ります。

## 復元画面

ホーム画面の「ファイルを復元」より、復元元のコンピュータを選択します。

復元場所・日時・保存方法が次のように選択できます。



- ① バックアップしたデータを検索することができます。
- ② クリックするとカレンダーが表示され、任意の日時を設定することで、過去のバックアップファイルを復元することが出来ます。
- ③ 下記のメニューが表示されます。  
**削除済みファイルを含む**：過去にローカル側で削除したファイルを表示させます。  
**不可視ファイルを表示**：不可視ファイルを表示させます。
- ④ ファイルの世代を選択できます。
- ⑤ ファイルのダウンロード復元ができます。
- ⑥ 復元したいファイル・フォルダのチェックボックスをクリックし、「ファイルを復元…」をクリックすることで、復元オプションを表示します。
- ⑦ **選択したファイルの保存先**：ファイルの復元先を、「デスクトップ」「ダウンロード」「元のディレクトリ」「その他」から選択します。「その他」を選択した場合は、復元先に任意のディレクトリを指定できます。
- ⑧ **ファイルが既に存在する場合**：「名前を変更」か「上書き」かを選択します。「名前を変更」に設定した場合、同一ファイル名がある場合にはファイル名を変更してファイルを復元します。「上書き」に設定した場合は、同一ファイル名がある場合には上書きされます。
- ⑨ **パーミッション**：「現在と同じ」か「オリジナル」かを選択します。ファイルのアクセス権を現在のものにするか、バックアップした際のオリジナルのアクセス権を保持するかを選択できます。



## 履歴画面

メニューバーの「ツール」>「履歴」（macOS は「ウィンドウ」>「履歴」）より、設定変更やバックアップ、復元した履歴などをログとして閲覧することができます。

| Code42の履歴         |                                                                                                                         |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履歴                |                                                                                                                         |
| 日付                | メッセージ                                                                                                                   |
| 02/09/21 03:13 PM | 25ファイル (26.90MB) バックアップ、168.10KB 暗号化および送信                                                                               |
| 02/09/21 03:29 PM | [DESKTOP-I9L4K5E/バックアップセット] CrashPlan PROe Serverへのバックアップ開始中:1ファイル (768.30KB) をバックアップ予定                                 |
| 02/09/21 03:29 PM | [DESKTOP-I9L4K5E/バックアップセット] 完了でCrashPlan PROe Serverに0h:00m:01sバックアップ:1ファイル (768.30KB) バックアップ、6.20KB 暗号化および送信 @ 1.6Kbps |
| 02/09/21 03:35 PM | 継承元:の復元を開始中CrashPlan PROe Server:1ファイル (35.80KB)                                                                        |
| 02/09/21 03:35 PM | C:\Users\nekoadmin\Downloadsへファイルを復元中                                                                                   |
| 02/09/21 03:35 PM | CrashPlan PROe Serverから復元完了:1ファイル復元済み @ 2.8Kbps                                                                         |
| 02/09/21 03:44 PM | [DESKTOP-I9L4K5E/バックアップセット] CrashPlan PROe Serverへのバックアップ開始中:3ファイル (511.80KB) をバックアップ予定                                 |
| 02/09/21 03:44 PM | [DESKTOP-I9L4K5E/バックアップセット] 完了でCrashPlan PROe Serverに0h:00m:01sバックアップ:3ファイル (511.80KB) バックアップ、74.30KB 暗号化および送信 @ 1Kbps  |

### ログの保存場所

- ・ Windows  
C:\ProgramData\CrashPlan\log
- ・ macOS  
/Library/Logs/CrashPlan
- ・ Linux  
/usr/local/crashplan/log



## タスクトレイの機能

タスクトレイのアイコンをクリックすると、クライアントソフトのホーム画面に表示されるバックアップ状況を確認できます。

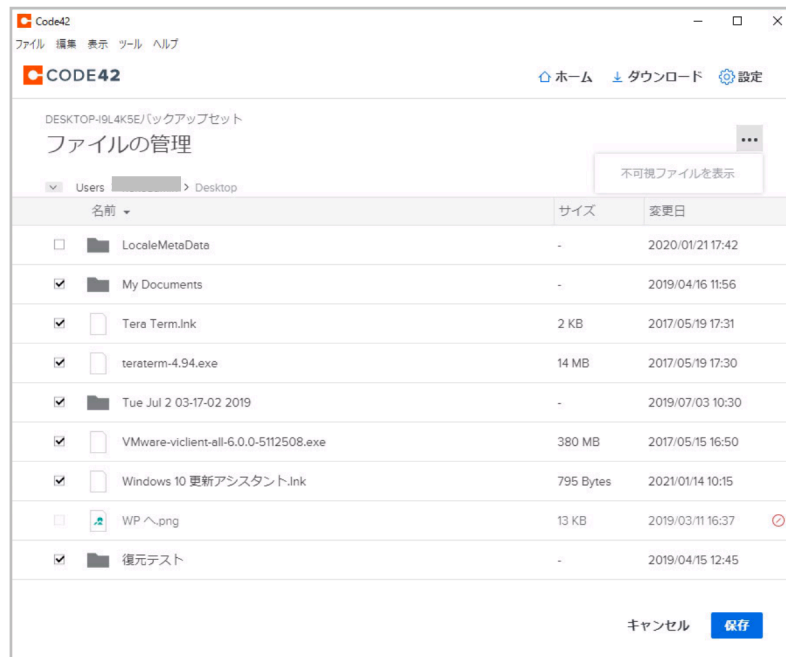
また、歯車マークをクリックすると、下記のメニューが表示されます。

- ・ **Code42 を開く**：クライアントソフトを起動します。
- ・ **すべてのバックアップを一時停止**：一時的にバックアップを停止するための設定ウィンドウを表示します。1時間、4時間、1日間から選択します。
- ・ **プリファレンス**：メニューバーの設定を変更できます。
- ・ **終了（メニューバーアプリを終了）**：タスクトレイ操作を終了し、アイコンをタスクトレイ（メニューバー）から削除します。



# クラウドからのバックアップファイル削除方法

1. クライアントソフトを起動し、ログインします。
2. 「ファイルの管理」をクリックします。
3. サーバから削除するファイル/フォルダのチェックボックスのチェックを外し保存をクリックします。



4. クラウドからファイルが削除される注意画面が表示されますので、承諾にチェックを入れ削除をクリックします。



# コマンドによるクライアントソフトの操作

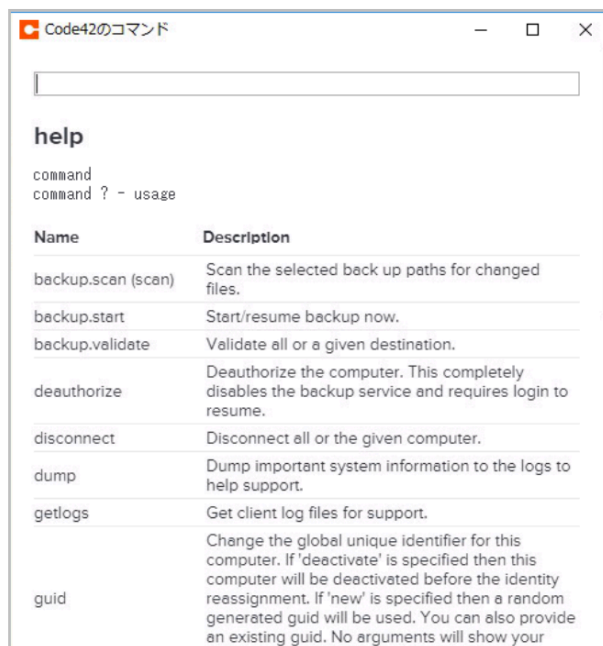
コマンドを入力してクライアントソフトの操作を行う事が出来ます。

1. Code42 クライアントソフトにログインします。
2. 以下より Code42 のコマンドを開きます。

**Windows** : Ctrl+shift+C

**macOS** : Option+Command+C

**Linux** : Ctrl+shift+C



## コマンド一覧

- dump : 最新のクライアントログを出力します。
- getlogs : 現在のログフォルダを zip 形式に圧縮したファイルが生成されます。
- pause.system : Code42 の動作を一時停止します (初期設定 : 60分間)。 (例 : 30分間の停止 → pause.system 30)
- restart : Code42 のクライアントソフトを再起動します。
- resume.system : バックアップを再開します。
- backup.scan : ファイルの変更のスキャンを実行します。
- deauthorize : 現在ログインしているアカウントからログアウトします。
- exit : クライアントソフトを終了します。バックアップはバックグラウンドで継続されます。

---

## コンピュータの引き継ぎ

クライアントソフトを用いて新しいコンピュータでログインした際、別のコンピュータのバックアップ情報（設定、バックアップしたデータ）を引き継ぐことができます。引き継ぎにより、バックアップ情報の適応対象が以前のコンピュータから新しいコンピュータへ変更されます。

下記の手順をご参照の上、ご対応ください。

<コンピュータ引き継ぎ手順>

<https://support0633.force.com/CrashPlan/s/article/cp0064>